（様式：中学校用）

令和５年度　学校図書館基本計画・評価シート

足立区立第十中学校　校長　　田村　和夫

１　学校教育目標

自他の生命を尊ぶ人間尊重の精神を基調とし、変化の激しい社会の中で生徒一人一人が主体的・自主的に学べるような資質や能力を定着させる。また、人間関係が希薄になりつつある社会の中で、助け合い、思いやる共存共生の社会を構築する心豊かな人間を育成する。そのために教職員と生徒の教育目標として、次の３点を掲げる。

・学び合う人　　・思いやる人　　・鍛え合う人

２　学校図書館の目標・ねらい　ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

①　学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
②　学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
③　学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
④　読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

３　学校図書館の現状（令和４年度末）

蔵書状況

①　蔵書数 14634　　冊（蔵書基準冊数 12160　冊）／ 蔵書率　120%
②　新規購入図書　624　冊　／　廃棄図書　166　冊　／増減冊数　458　冊

分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合	3%	3%	11%	12%	12%	5%	3%	10%	6%	35%
＊国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%

利活用の状況

①　開館時間：毎日放課後 17 時 30 分まで　　（前年度からの変更　あり・なし）
②　生徒一人あたりの年間平均貸出冊数　11.9　冊（前年度末：12.1 冊）
③　学校図書館利用率　1036%（前年度末：1062%）

（令和５年度末）

蔵書状況

①　蔵書数　　冊（蔵書基準冊数　　冊）／ 蔵書率　　%
②　新規購入図書　　冊　／　廃棄図書　　冊　／増減冊数　　冊

分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合										
＊国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%

利活用の状況

①　開館時間：　　（前年度からの変更　あり・なし）
②　生徒一人あたりの年間平均貸出冊数　　冊（前年度末：　　冊）
③　学校図書館利用率　　%（前年度末：　　%）

４　目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第１学年

①　小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。
②　学校図書を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。
③　図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
①　休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書をすることができる。 ②　図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③　学校図書館のきまりや仕組みを知る。	①　第１学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比 10%増 ②　学年生徒の調べる学習コンクール参加率 75%以上 ③　学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%

目標達成状況

第２学年	①　いろいろな読み物を読もうとする意欲を育てる。 ②　課題によって学校図書やＩＣＴ機器を使い分けて探究活動を進め、情報活用能力の育成を図る。

今年度の成果目標	達成基準
①　授業や放課後の時間等に、主体的に学校図書館を活用して、読書をすることができる。 ②　課題に応じて、本や新聞等、ＩＣＴ機器を使い分け、探究活動を進めることができる。	①　第２学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比 10%増 ②　読書や探究活動の授業を年 10 回以上実施するクラスの割合 100%

目標達成状況

第３学年	①　読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ②　学校図書やＩＣＴ機器を活用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。

今年度の成果目標	達成基準
①　休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書をすることができる。 ②　課題に応じて、本や新聞等、ＩＣＴ機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。	①　第３学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比 10%増 ②　読書や探究活動の授業を年８回程度実施するクラスの割合 100%

目標達成状況

５　学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ・蔵書構成のバランスを考慮し、新規購入を勧める。 ・「三桁分類」への変更作業完了を目指す。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ・学校図書館オリエンテーションの実施や授業に必要な資料の貸し出し等、積極的に連携に取り組む。	
【その他】 ・朝と放課後の時間に、全校で読書活動の時間を設ける。 ・年３回の読書週間を設定する。 ・昼休みの時間を確保し、図書館を解放する。 ・年度末の貸出返却率が 100%になるように取り組む。	

６　学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）
７　学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）